

日本人交換留学生の韓国に対するイメージとその変化

青木 香代子*・安 龍洙**

(2019年10月28日受理)

Images and Change of Images of South Korea of Japanese Exchange Students

Kayoko AOKI* and Yong Su AN **

(Received October 28, 2019)

要旨

本研究では、韓国に半年間ないし1年間交換留学した日本人学生4名の韓国に対するイメージについて、PAC分析を用いて調査した。被調査者の共通したイメージとして、「学歴社会」「上下関係が厳しい」といったイメージや、「軍隊」「兵役」など、日本にはない制度に対するイメージなどが挙げられた。また、これらのイメージは渡韓前に持っていたものも多いが、留学中の体験を通してイメージが強化されたケースや、韓国での生活を通して新しく生まれたイメージもあることが分かった。さらに、韓国の酒文化、韓国人の上下関係、軍隊・兵役などのイメージについては、被調査者間で評価が異なることが明らかになった。

【キーワード】日本人学生、韓国交換留学、対韓イメージ、韓国・韓国人観、PAC分析

1. 問題の所在と目的

本研究は、日本社会における「外国人」と「日本人」の異文化相互理解の実態とその特徴について、個人別態度構造分析法（Analysis of Personal Attitude Construct：PAC分析法）を用いて、認知的・情意的な観点から質的に検証し外国人と日本人の相互理解と相互交流の課題と問題点を検討する一連の研究の一部である。本稿では、半年間、ないし1年間韓国に短期留学した日本人交換留学生の韓国に対するイメージの変化について考察する。

日本人大学生の韓国に対するイメージに関しては、これまでも多くの研究がなされてきている。例えば、日本人大学生の韓国留学観についてPAC分析を用いて調査した研究（高柳・安、2019）

*茨城大学全学教育機構（〒310-8512 水戸市文京2-1-1; Institute for Liberal Arts Education, Ibaraki University, 2-1-1 Bunkyo Mito-shi 310-8512 Japan）

**茨城大学全学教育機構（〒310-8512 水戸市文京2-1-1; Graduate School of Education, Ibaraki University, 2-1-1 Bunkyo Mito-shi 310-8512 Japan）

や、日本の大学における韓国語学習者の韓国や韓国人に対する好感度や関心度についての意識調査(林・姜、2006；金、2006；金、2017)、韓国語学習者と非学習者、あるいは韓国語学習者と他言語の学習者の韓国や韓国人に対するイメージを比較した研究(呉・金、2009；尹・南、2014；尹・南、2015；尹・南、2016)などがある。高柳・安(2019)は、韓国の大学に1年間交換留学した日本人学生3名に対し、PAC分析法を用いて韓国留学観及びその意識変容について、渡韓直後、渡韓後5カ月、帰国直前の3回にわたって調査を行ったところ、「人と人との距離が近い」「一人で行動しにくい」「酒文化」が共通項目として挙げられ、2回目の調査以降は韓国での生活に慣れ、「人と人との距離が近い」「一人で行動しにくい」についてはイメージが薄れた一方で、「酒文化」についてはイメージが強化されたことが分かった。この研究は留学中の韓国留学観の変容を考察したものであったが、帰国後どのような変化があったかについては明らかにされていない。

尹・南(2014；2015；2016)は、金沢大学の韓国語学習者と、その他の外国語学習者の韓国・韓国人に対するイメージを比較したところ、韓国語学習者のほうが韓国語非学習者より関心や好感をより高く持っていることが明らかになった。また、韓国に対するイメージについては、韓国語学習者のほうがより具体的なイメージを持っており、イメージ形成の要素も「食べ物」「領土(問題)・歴史」「韓流」といったイメージの他に「学歴社会」や「貧富の格差」「競争社会」といった「社会問題」に関するイメージ要素が見られたと報告した。

呉・松本(2013)は、PAC分析を応用した半構造化面接法を通して、日本人学生の韓国人に対するイメージについて、個人レベルの事例から具体的な知見を探っている。呉・松本(2013)によれば、日本人学生は韓国人のイメージとして「礼儀や伝統を重視し、積極性が高く、自分を表に出す」といった内面的な特徴を多く持っていることが分かった。そして、イメージ形成の要因として、韓国人留学生との接触経験や訪韓経験、日本のテレビ放送、先輩や友人からの話、韓国語学習などがあげられた。さらに呉(2018)は、韓国人との接触経験に着目し、大学の国際交流プログラムで7日間韓国を訪問した学生を対象に、訪韓前、帰国直後、帰国後5カ月の3回にわたって韓国人に対するイメージについて、面接法を用いて調査を行っている。呉の調査によれば、訪韓経験が韓国人の内面的な特徴に関する認識を生み出し、またその影響がある程度持続可能であることが分かった反面、「過激」「反日」といった否定的な認識については時間の経過とともに再浮上すること、その要因としてマスメディアからの情報が影響することを報告した。これらの研究は、韓国の歴史や社会的側面のイメージも含むものであるが、交換留学などのある一定の期間滞在した場合のイメージを考察したものではない。

海外留学を通じた異文化理解についても多くの研究があるが、例えば日本に半年間留学した中国人留学生の事例を分析した松田・安(2018)は、日本人との接触経験が多いと思われる学生ほど、表面的な理解にとどまらず、文化の相違を相対的に判断できるとした。さらに、日本に交換留学で半年から1年間留学した韓国人留学生の対日観に関する事例研究(安、2009；安、2014)では、日本人の反韓感情に対するマイナスイメージが留学経験を経て薄らいだことが報告された一方で、帰国後、マスメディアの報道に触れ、日本留学で肯定的に変わった自身の対日観を疑問視する事例(安、2015)も報告された。交換留学では、現地の学生や地域住民との接触経験も交流プログラムのような短期間の滞在に比べて日常的に行われるため、滞在国内に対するイメージが新しく生まれ、内面的な理解が進むことが考えられる。

本稿では、交換留学生として半年間ないし1年間韓国に滞在した日本人学生の韓国に対するイメージについてPAC分析法を用いて、(1)韓国に対するイメージについてどのような特徴がみられ

るか、(2) 韓国滞在後にどのようなイメージの変化があったか、を中心に検討する。

2. 研究方法

調査は第1部と第2部に分けられるが、第1部は被調査者本人の同意を得てフェイスシートに被調査者の属性を記入させてから、質問紙を用いて以下のように調査を実施した。まず、被調査者に以下の刺激文を与え、そのイメージについて思いつくままに記入してもらった。

【刺激文】『あなたは「韓国・韓国人・韓国社会」に対してどんなイメージを持っていますか？思い浮かんだ順に「単語か短い文」で下の表の「連想イメージ欄」に書いてください。連想イメージは10項目以上書いてください。』

その後、その連想イメージを重要と思われる順序に並べさせた。更にそれぞれのイメージ項目の組み合わせが、直感的イメージでその意味内容においてどの程度近いのかを7段階尺度で評定させた。この尺度での回答をもとに、ワード法でクラスター分析し、その結果に対する対象者自身の解釈を求めた。最後に連想項目のイメージについて、プラスイメージの場合は (+)、マイナスイメージの場合は (-)、どちらともいえない場合は (0) の記号を記入させた。

第2部は口頭により、1) 各クラスター及びクラスター全体の解釈、2) 上記1) の解釈についての留学前後の変化、3) 各イメージ項目に対して、そのイメージを抱くようになったきっかけや媒体、を尋ねた。

本稿で対象としたのは、2012年～2017年の間¹⁾に韓国の大学(W、X、Y、Z)に交換留学生として滞在した日本人学生4名(A～D)である。調査は交換留学後に日本に帰国してから実施した。いずれの学生も1学期(約半年間)から1年間(約1年間)日本に滞在した。本稿では被調査者が特定されないように地名などにはランダムなアルファベットで記した。

3. 結果

ここでは、まずクラスター分析の結果を示し、その結果に対する被調査者自身の解釈を述べてから、総合的な考察を行う。

3.1. 被調査者 A

図1は被調査者A(以下、「A」とする)のデンドログラムである。また、表1はAのクラスター分析とクラスター解釈である。

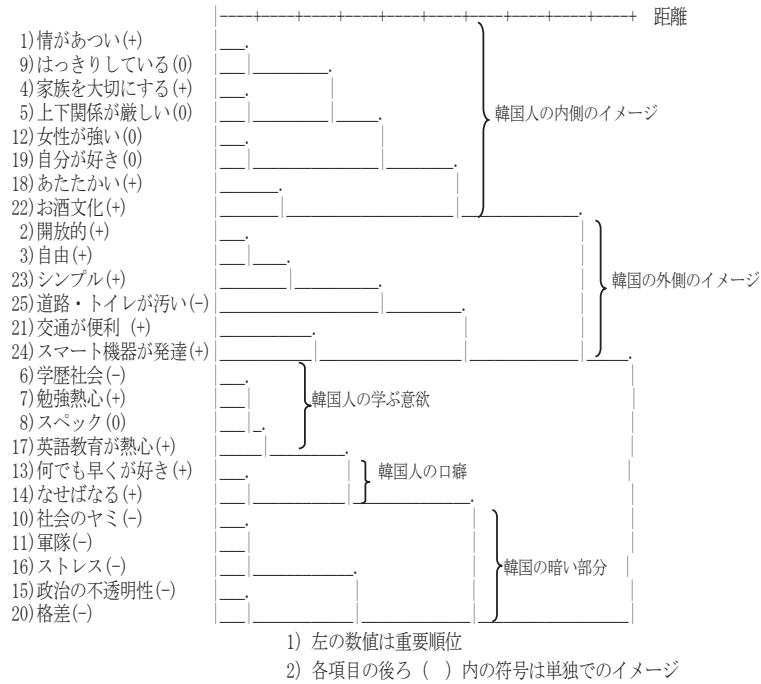


図1 Aのデンドログラム

表1 Aのイメージ項目及びクラスター解釈

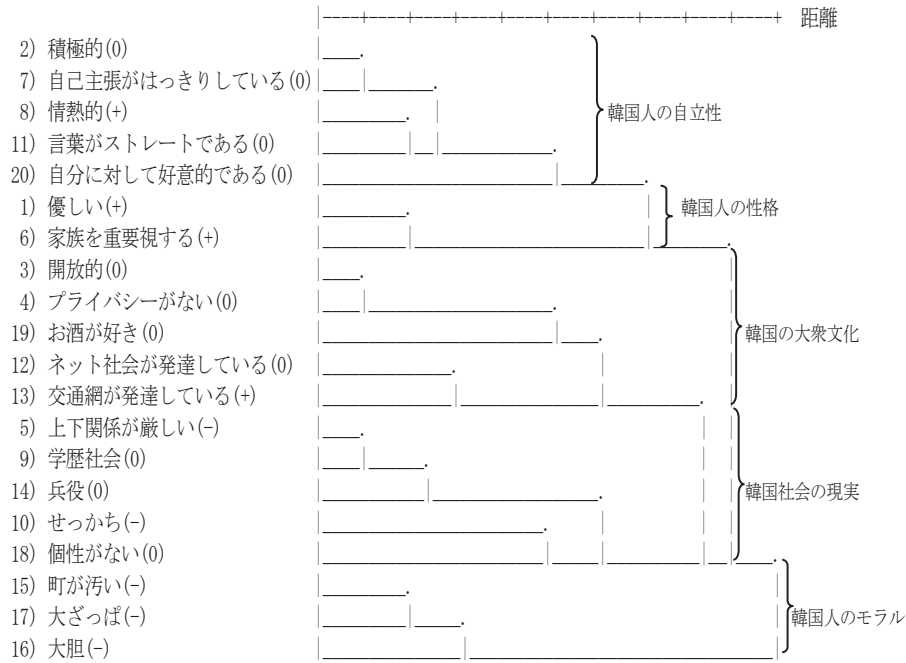
<p>クラスター1 韓国人の内側のイメージ：『1) 情があつい(+)] 『9) はっきりしている (0)] 『4) 家族を大切にす る (+)] 『5) 上下関係が厳しい (-)] 『12) 女性が強い (0)] 『19) 自分が好き (0)] 『18) あたたかい (+)] 『22) お 酒文化 (+)]</p>	
<p>クラスター 解釈</p>	<p>内面的な韓国人像。(具体的にどんな?) 多分、9は別として、この上の所とか特に、1、4、5は、 儒教がやっぱり影響してるのかなって思ってた。そこがちょっと日本とはなんか違う、韓国人 の特徴的な部分かなと思って、分けました。(日本人とは違うと。)ここに、18にもあると思う んですけど、この温かいついていうのがあって。全体的にはどっちかというといい印象で、上下 関係は厳しかったり、日本人としては難しいなっていう部分もあるんですけど、全体的に日本 人より冷たくないっていうか、温かいついていう韓国人の・・・。(他にどうですか) 12番、19 番も、日本人と比べてっていうのなんですけど。12番は特に、日本人は、実際にそうとかじゃ なくて、どっちかっていうと男性社会っていわれてて、イメージ的には女性が弱い印象がある んですけど。韓国は逆で、実際、自分が見たりした中では男の人のほうが女性に、屈するじゃ ないけど、女性に対して尽くすっていう意味で、女性のほうが優位にいるのかなっていう感じ がして。19番は、これも日本人とは違う韓国人の特徴で。自分が好きっていうのは大体、誰も、 結構そういう部分あると思うんですけど、特に写真。自分の写真を韓国人撮ったり、自分の写 真を携帯の待ち受けにしたり。日本人は絶対、外に自分のこと好きっていうことをあんまり 見せない、けど・・・でも今の、特に若い子は、なんかすごいなって思ってた。これは日本人 にはない、自分が好き、なんか、自信? (自信過剰?) 家族を大切にすとか、それまで育っ てきた環境とかで、自分も大切にしようという意識がそこにつながってって、自分が好きなの かなと思って同じグループに。</p>
<p>渡韓後の 変化</p>	<p>私が韓国に留学、行くこと自体が留学で初めてだったので、韓国人のこういう実情っていうの は、いまいよく分からなくて。でも、イメージなんですけど、日本人のほうがどっちかって いうと優しいのかなかと思ってたんですけど。行ってみたら逆で、日本人はもちろん仲いい人 には優しくするけど、他の人にはあんまり。無関心というか、配慮してなんだと思うんですけ ど、ちょっと冷たい。違う視点から見たら冷たいって感じがしたんですけど。韓国は全然、知 らない、例えば、食堂のおばちゃんとか、普通のお店のおばちゃんとか、あと、普通によく知 らない、日本では大学になったら上下関係も特にないいし、でも、そういう先輩とかも、限らず、 自分から寄ってきてくれるっていうか、話し掛けてきてくれるところが。あれ何話してたんだっ け、私。(おせっかいな部分もあるけど。日本と違うんですね) だからいい方向に、いいイメ ジに変わりました。行く前よりは。</p>

クラスター 2 韓国の外側のイメージ：『2) 開放的 (+)』『3) 自由 (+)』『23) シンプル (0)』『25) 道路・トイレが汚い (-)』『21) 交通が便利 (+)』『24) スマート機器が発達 (+)』	
クラスター 解釈	<p>クラスター 2 の 25、21、24 は、さっきが内的だったら次は外的な、韓国の現状じゃないですけど、イメージ。で、この 2 番と 23 番は、ちょっと違って。まず 2 番から説明すると、2 番の開放的っていうのは、もしかするとちょっとクラスター 1 のほうに近いのかもしれないです。この開放的っていうのは、韓国人がさっきみたいに自分から外に向かってく、向かって来てくれるイメージで開放的っていうのは、なので韓国は結構、日本にも、留学する人がやっぱり多いじゃないですか。あと、英語を学んだり。ここにも、クラスター 3 にもちょっと関係ありますけど。そういう意味で、日本は今、特に、留学する人が減ってたり、あんまり外国に対して興味っていうか、そういうのが減ってきてるっていう感じなんですけど、逆に韓国人はどんどん自分から、外に向かってこうっていう意識が強くなって、開放的っていうのは書いて。あと、シンプルっていうのは、服装とかの面で、シンプルって書いてます。で、この 25、21、24 はそのままの、私が韓国で感じた、韓国の実情みたいな感じで。今、交通が便利っていうのは、もちろんここが都会じゃないからっていうのもあると思うんですけど、公共交通機関も韓国は安いし、そういう面でもよく利用できる。やっぱり日本だとどうしても、特に茨城は、公共交通機関よりも自家用車で行ったほうが早いし、安いので、そういう面ではここは違うところだと思って。あと、スマート機器が発達してるっていうのは、普通に、日本人は最近結構、スマートフォンとか使ってる人も多いんですけど、向こうに行ってみると、すごいびっくりしたのが、おじちゃんおばさん世代でもほとんどスマートフォン使ってる、そこに驚いて。みんなカカオトークとかもやってるから、韓国のおじちゃんおばちゃんすごい、みたいな。(すごいなと思った?) ええ、使いこなせるんだ、と思って。で、そういう面でも多分、このスマート機器は日本よりも韓国のほうが、ドラマとかもそうですけども、日本でスマートフォンがはやるっていうか、そういう時代よりも前に、韓国が先に、使いたしてたじゃないですか。だからそういう面でも、日本よりも、スマート機器が発達しているか、先にいってるなって。先進? してるなって。あと、この最後の、道路、トイレが汚いのは、そのままです。</p>
渡韓後の 変化	<p>行く前はどうしてもやっぱり、日本のほうが、外的な部分も発達してるのかなって思ってたんですけど、行ってみたら全然、韓国も普通に先進国だし。この交通とか、道路もトイレも整備されて、ただ使い方が汚いだけで、ちゃんとあるじゃないですか。あと、スマートフォンとかだったら日本より全然、上だと思うし。なので、これも、行く前よりいい印象。韓国も前進してる。韓国も先進国なんだなっていう。</p>
クラスター 3 韓国人の学ぶ意欲：『6) 学歴社会 (-)』『7) 勉強熱心 (+)』『8) スペック (0)』『17) 英語教育が熱心 (+)』	
クラスター 解釈	<p>これも、行く前から韓国は、結構、自殺率が高いって聞いてたんで、なんでだろうとか思ってたんですけど、実際、行ってみたら、大学生もすごい勉強するんですよ。だからもう、図書館も遅くまでずっとみんなこもってるし、テスト期間になったらもうそれ以上にすごい、みんな勉強して。日本と比べたら、日本はやっぱ大学に入るまでは勉強すると思うんですけど、大学入ったら結構みんな遊んでるっていうか、勉強をだんだんなくなってっちゃうと思うんですけど。なんかそういう意味で学歴? が重要視されてる社会なのかなって、韓国は、思って。あと、英語教育は、私の知り合いの韓国人の中しか知らないんですけど、すごいみんな英語が話せて。大学 1 年生のときも英語の授業、取ってたんですけど、I 大学で。そんなときも、結構みんな、センターのための英語で、それ以降は忘れちゃってるっていう感じなんですけど。でも韓国は、大学でも英語を学ぼうみたいな、意識が強くなって思いました。</p>
渡韓後の 変化	<p>もともと、ニュースとかで、韓国のセンター試験みたいなやつで、警察出動させたりってニュースとか日本で見てたりしてたんで、学歴、勉強熱心の社会なんだなと思って行ったので、あんまりそこは変わらなかったんですけど。それ以上に、本当にみんな勉強してるんだなって。大学生も勉強してるっていうところに驚きました。</p>
クラスター 4 韓国人の口癖：『13) 何でも早くが好き (+)』『14) なせばなる (+)』	
クラスター 解釈	<p>これは、いい意味も悪い意味もあって、とりあえず日本人はどちらかっていうと消極的になりがちで、何事も行動を起こすときは慎重に考えちゃったりすると思うんですけど。韓国人はそこらへん、迅速で、とりあえずやってみよう、大丈夫みたいところは、いいところだな、見習いたいところだなって思うんですけど。逆に言えば、あんまり後先を考えないでやるから、なんかもう少し、もちろんそれが成功するときもあるけど、失敗するときもあるじゃないですか。だから、もう少し計画的にできないのかなって、思うところとか。これは韓国人の特徴で、クラスター 1 に近いんですけど、特に、韓国語でよく聞いた言葉から出てきた、韓国人のイメージです。</p>

渡韓後の変化	韓国に行く前はこういうイメージをあんまり持ってなかったです。
クラスター5	韓国の暗い部分:『10) 社会のヤミ (-)』『11) 軍隊 (-)』『6) ストレス (-)』『15) 政治の不透明性 (-)』『20) 格差 (-)』
クラスター解釈	これは全体的にやっぱり、韓国の暗い部分っていうか。クラスター1とかが、私的にはいい印象なんですけどクラスター5は反対で、社会の闇っていうのはクラスター3にも関連するんですけど。学歴社会で、韓国人って結構、センター試験のために勉強もするんですけど、日本は大学行ったらゴールみたいな感じだと思うんですけど。韓国、大学、行ってもやっぱり試験は勉強しないとイケないし、とりあえずスペックを求められてるから、みんな留学とか短期研修とか、日本人以上に将来、出世じゃないけど、就職するのに大学の4年間で頑張っただけでかなきゃいけなくて、日本人はほとんど4年で卒業するじゃないですか。でも韓国って、休学する人も多いし、それで、自分のスペックをどんどんためていかなきゃならないってところで、やっぱり、日本人がどっちかっていうと、ぼわんって。多分、大学によってまちまちだと思うんですけど、個人によって。でも、日本人はどっちかっていうとぼわんってした大学生活を送っている感じがして。でも、韓国は切羽詰まってる、大学生も切羽詰まってるみたいな印象があって、そこからストレスが生まれて、それは学生時代からもそうだし、就職してからもストレスだと思うんですよ。だから、そういった意味で自殺率とか、幸福度数っていうのが韓国は低いって聞いたんで、そういうのが韓国の社会から生まれた暗い部分もあるのかなって思う。この軍隊っていうのも、どっちかっていうと暗い。もちろん、戦争に関わってるから、暗いイメージなんですけど。日本にはない、日本は徴兵制ではないので、みんなが関わる軍隊ではないじゃないですか。そういった意味で韓国の特徴的なものだと思うし、軍隊での自殺とか、他の人を殺しちゃったりする事件も結構、多いので、そういった意味でこれも暗いイメージ、ストレス。15番も、最近っていうか、もう結構、たったけど、セウォル号?の沈没事故とかでも、全然、国民、まあ日本もあんまり人のこと言えないと思うんですけど、国民にすぐに情報が伝わらないっていうか、隠蔽されてる部分も多いのかなって思っ。そんな韓国の政治について詳しくないんで、あんまり追及できないんですけど、そういうのを感じました。あと、格差っていうのは、大学に留学してたんで、学校を選ぶときの格差。特に、日本は東京と大阪で、そこら辺にもいろいろ大学、東京だったら東京大学、京都だったら京都大学って、いろいろ分散してると思うんですけど、韓国の場合って、ソウルの中心にほとんど有名校が並んでるじゃないですか。で、ソウルっていうのはやっぱり物価も高いし、物価っていうか家賃とか高いし。大学に行くためには塾、韓国人の友達とかはすごい「通ってた」って言うてるんで、その塾の費用もかかるし、やっぱり学力を付けるためには、金銭的に格差があるんじゃないかなって思っ。日本も同じことがあると思うんですけど、特に韓国は学歴が重視されてると思ったので、そういった意味で、格差が大きいんじゃないかなって。
渡韓後の変化	韓国、行く前は、韓国の内情っていうのはあまり見れてなくて、どっちかっていうと日本との関係、特に私が行く前は、竹島上陸とかだったりして、日本との関係で外交的な部分の闇ばかり見てたんですけど。韓国に行って、現場じゃないけど、実際、韓国社会で生活してみると、韓国でしか感じられない…。(行ってみないと分かんないってこと?)はい。日本にいとやっぱり、日本との関係とかやっぱり見ちゃうんですけど、韓国国内にもこういった問題がいっぱいあって。
全体	
クラスター解釈	私としては留学、1年間の留学生活だけで考えるんだしたら、私的には韓国は、イメージしてたよりも全然、過ごしやすい国で。食べ物とかも、韓国料理すごい好きだし。ヘジャンクク(酔い覚ましに用いられるスープ)。あと、22番。お酒文化で、あ、すごいなって。韓国すごいなって。そういう部分でもよかったんですけど、それ以上に人が優しいなって。日本より全然、優しいと思います。聞いたらもちろん日本人は優しいけど。多分、日本人でも人によっては、韓国行ったら、なんでそんなプライベートってか、どんどん踏み込んでくるんだみたいな。これに関係しちゃうんですけど、過ごしやすっていうか、いいなって思っ。この家族を大切にするっていうところで。日本でも、差はあると思うんですけど。個人的には、家族がそんなに団結っていうか、結構ばらばらだったので、実際、韓国に行ってみて、いろんな人に接して、そこから家族を見たときに、韓国人は親の言うことよく聞くし。そこは別にうらやましくはないんですけど、なんか……。逆に何でも、いちいち突っ込むっていうか、心配してくれる。特にお父さんお母さんの仲がいいし。そこで子どもたちもこう、わあって、まとまるところがいいなって。

3.2. 被調査者 B

図2は非調査者 B（以下、「B」とする）のデンドログラムである。また、表2はBのクラスター分析とクラスター解釈である。



- 1) 左の数値は重要順位
- 2) 各項目の後ろ（ ）内の符号は単独でのイメージ

図2 Bのデンドログラム

表2 Bのイメージ項目及びクラスター解釈

クラスター1 韓国人の自立性：『2) 積極的 (+)』『7) 自己主張がはっきりしている (+)』『8) 情熱的 (+)』『11) 言葉がストレートである (+)』『20) 自分に対して好意的である (0)』	
クラスター解釈	これは、韓国人の全体としての傾向っていうか、日本人に比べると、日本人は他人の目を気にして自分の意見を言えなかったりすると思うんですけど、韓国は他人の意見というよりは、自分が思ってることを積極的にずばずばじゃないですけど、すごい言ってるイメージがあったり。発表のときとかも自分で率先して意見出したりとか、そういうのを見て考えたのと、自分に対して好意的っていうのが韓国人は写真をよく撮ると思うんですけど、自分の写真をよく撮って、あげてたりとか、そういうところを見ると、そうなのかなと思って。(他には?)情熱的っていうのは、積極的とも似てるんですけど、韓国留学っていうよりは、韓国の文化として、例えば、告白するときとかも、赤いバラを持ってきて告白したりとか、あとは一回振られても、めげずにまた告白するみたいな。そういうのを見ると、日本人とは違うかなって思いました。
渡韓後の変化	その時々だと思うんですけど、積極的っていうのは驚いたのが、例えば学校で寮に住んで、テスト前とかに夜中の3時半まで部屋の電気がついてたりして、日本人はそこまで必死に大学生、勉強しないんじゃないかなって思って。そこはそう思ったり。
クラスター2 韓国人の性格：『1) 優しい (+)』『6) 家族を重要視する (+)』	
クラスター解釈	家族を重要視するっていうのが、家庭それぞれ違うと思うんですけど、でも、例えば親に限定すると、男の学生とか、軍隊行ってきた人とかだと、お父さんに対して敬語使ったりとか、そういうのを見ると、韓国だと親に対して礼儀っていうか、そういうの考えて敬語とか使うと思うんですけど、日本だと逆に親に敬語使うとすごい距離を感じるとか、逆にそういうふうに見えるか、親の言うことが絶対ではないですけど、日本に比べると、例えば親の言葉をよく聞くというか、すごい尊重するというか、そういうところがあると思いますね。優しいっていうのも、もちろん日本人も優しいと思うんですけど、優しいって何か行動があったから優しいといよりも、ここの優しいってどっちかっていうと、抽象的なイメージみたいな感じで。

渡韓後の変化	行く前と比較して、家族を重要視するっていうのは、行く前はそんなに実感してはいなかったんですけど、電話してるの聞いたりとか、そういうところを見て再発見っていうか。
クラスター3 韓国の大衆文化：『3』開放的(0) 『4』プライバシーがない(0) 『19』お酒が好き(0) 『12』ネット社会が発達している(0) 『13』交通網が発達している(+)	
クラスター解釈	ここはプラスの面とマイナスの面が両方あると思うんですけど。開放的とプライバシーがないというのは、一見、同じように見えてもプラスの面としても捉えられるし、マイナスの面としても捉えられると思うんですけど、オープンっていうことですごい仲良くなれると思うんですけど、それが行き過ぎちゃうと、プライバシーの侵害っていうのにもあたるのかなと思って。例えば人の物、日本人は何かするとき、さっきも言っていましたけど、何かするとき一応、断りを入れるというか、1回聞いてから使ったりとかすると思うんですけど、それを韓国ではそういう文化があまり逆に仲いい同士だからいいっていう、そういうのがあるんで、その面で自分の個人の部分がちょっと侵害されることもあるのかなって感じで。ネット社会が発達しているっていうのも、すごい日本ではWi-Fiとかもあまり少なくて、韓国だとWi-Fiがすごい発達しているんで、そういうの旅行したときとか、留学生活の中としてはすごいいいと思うんですけど、その分、ネットの中での誹謗中傷とかも日本も多いですけど、それに比べるとちょっと問題もあるのかなって思ったりして。(韓国のほうが、よりそういう問題が深刻である)はいい。交通網が発達しているというのも、交通公共機関がすごい発達していて、日本に比べると本当に便利だなというのがあったり、交通費もすごく安いので、その面はすごいプラスだなと思っていて。お酒が好きっていうのも、お酒が好きっていうよりも、お酒が強いついていうとも言えると思うんですけど。日本でもすごい大学生もお酒飲んだりしますけど、お酒文化が発達しているんで、それで仲良くなれるっていうのもすごいあると思うので。私たちは留学生だったんで飲まされるとか、そういうのもほとんどなかったんですけど、実際、そこがどうなのかなっていうのがありますけど、それくらいですかね。
渡韓後の変化	プライバシーがないというのは、すごい、行ってより感じたというか。ある程度、仲良くなると、人それぞれ性格とかもあるんで。全体的な傾向として、交通網が発達してるとか、ネット社会が発達してるっていうのも前から知ってはいたんですけど、交通費の安さとかは行ってから日本と比較すると、本当に移動に関してはすごい便利でいいなというのはより感じました。
クラスター4 韓国社会の現実：『5』上下関係が厳しい(-) 『9』学歴社会(0) 『14』兵役(0) 『10』せっかち(-) 『18』個性がない(0)	
クラスター解釈	これは韓国の社会っていうか、社会の問題としてあって、上下関係が厳しいっていうのは、日本でもよくありますけど、例えば同じ学年にいても浪人してて、違ったりして。そうすると日本の場合だと、例えばずっと一緒に過ごしてたのに学年の終わりとかになってから、いや、実は1個上なんだっていう、まずそんなに年を聞く文化がないので、全然、知らないまま、そのままいってて、普通にため語で敬語使わないでしゃべってる場合もすごいあるんですけど。韓国で浪人してて、例えば1個上だとしても、学番が一緒だとしても本当の年齢をみんなが知ってて、それで言葉使いを決めるというか、すごい上下関係が日本に比べて徹底してるなっていうのが、すごい感じて。(主に上下関係、年のこと?)年とか、先輩、後輩、そうですね。学歴社会とかも日本でも多いですけど、とりあえず大学入ろうっていうか、日本に比べても大学に進学する人が多い。例えば日本語学科としても、本当に日本の文化に興味があって入ってくる人もいますが、例えば第1志望落ちたから、ここ入れるから、ここ入ろうかみたいな、そういう感じで入ってきてる人もいて、とりあえず大学進学しないと就職できないみたいな、そういうのがあるんじゃないかと思ったりして。兵役は、身近に普通の留学生活の中で、例えば会話の授業を手伝いに行ってた1年生が、次の学期に移ったら徴兵制で軍隊行っちゃったみたいな、そういうの、すごい身近に感じましたね。日本には兵役っていう制度がないので、それは韓国の中でも韓国の社会の特徴なんじゃないかなって思ったり。せっかちっていうのは、これせっかちっていうのも、時間にルーズというか、逆の意味になっちゃいますけど、例えば待ち合わせ時間に平気で遅れてきたりとか、せっかちってさっき言ったのは、何かするときも早くみたいな、そういう文化がすごいあるんじゃないかと思って。例えば、ご飯食べてたり、あとは、買い物したりとか、早くって感じで。個性がないっていう部分は、私を感じたの、一時部分なんですけど、ファッションとか、お店に行ってもみんな同じような感じの服ばかりで、違うお店なのに同じ物売ってたりとか。日本に比べると、その辺が個性がないかなって感じたり、メイクもみんなちょっと似てる感じで、個性があまりないのかなってちょっと感じました。

渡韓後の変化	イメージは、上下関係が厳しいっていうのと、兵役は重そうですね、行ってみてより強く感じたっていうのがあって。5番と14番。上下関係が厳しいっていうのも日本でも上下関係ってありますけど、大体、大学生になると、そんなに中学、高校と違って日本ってよく部活動とかやってるんですすごい厳しいんですけど、大学生になると、そこまで先輩、後輩っていうのはあまり重視しない気がしてて、例えば1歳の差とかだったら全然、気にしないって思うんですけど、韓国は1歳の差でもすごい重視してる気がして、そこはすごい驚いたっていうのと。兵役は、よくテレビとか、そういうので韓国に兵役があるのは知ってたし、よく聞いてたんですけど、でもあんなに、例えば学期が変わったら男の子たちがぼぼいなくなったりしてて、本当にみんな行くんだっていうのはすごい実感したところですね。
クラスター5 韓国人のモラル：『15) 町が汚い(-)』『17) 大ざっぱ(-)』『16) 大胆(-)』	
クラスター解釈	これはどっちかっていうと、マイナスイメージになってて、街が汚いっていうのと大ざっぱっていうのは、ちょっと似てる感じがするんですけど。例えば、街が汚いっていうのは道が汚いっていう、たばこの灰がらとか、つばとか吐いてるのが普通になってて。あと、道の脇とかにごみ袋とかが置いてあって、そこにみんな飲み物飲んだ後の全部捨てたりすると思うんですけど、いっぱい入らないのに、周りにまでごみが落ちてたりして、日本に比べて分別があまりできてないっていうので大ざっぱなのかなっていうのと、トイレの掃除とかも本当に掃除したのかなっていう感じがあったりとか。あとは、例えば学校の休憩室とかで、机があるじゃないですか。テーブルの上で汚したのに拭かないでそのまま置いてあったりっていうのが、ちょっと大ざっぱっていうか、マナーがないっていうか、そういうふうに感じたり。あとは大胆っていうのは、スキンシップが激しいっていうか、例えば、人前とかでもすごい普通にべたべた、カップルに限定されるかなと思うんですけど、人目を気にしないで普通にべたべたするっていうのが、日本人は人前で手つないだりはしますが、それ以上はあまりしないんじゃないかなって思って、すごい大胆かなって思いました。
渡韓後の変化	無回答
全体	
クラスター解釈	韓国はグループっていうか、日本に比べて自主性が強いっていうか、他人は関係なくて自分は自分っていう意思が強いっていうか。逆に考えると、でもボランティアを例にすると、韓国って就職とかに考えると、ボランティアをみんなで作ったりしてるイメージが私的に強くて、それって周りもやってるから就職するためにボランティアをしなきゃいけないんだって、奉仕活動の部分埋めるためにすごいやってるイメージがあって。そうすると、自主性が強いのは逆のイメージにもなったり。あとは、私が留学して関わった韓国人が、日文科が多いってこともあるんですけど、日文科って上から下まですごい学校の中で連携じゃないんですけど、関わりがすごいあるなっていう気がして。例えば何か行事があったりしたら、上から下まですごいみんなです。一緒に何かする?)一緒に何かをしたり。私たちは全く先輩との関係もぼぼなくて、そう考えると、上下関係も厳しいんですけど、それとは別に礼儀を踏まえつつでも仲がいいっていうのは、それが韓国人って全体的に言えるのかは分からないですけど、そこはちょっと違うのかなって思ったりして。あとは、韓国人っていうんじゃないんですけど、大学として、日本って大学だとすぐ夜とか開いてないで閉まっちゃったりしてるんですけど、Y大学に行って、夜も普通に学校のドアが開いてたりして、みんなが夜まで、例えば学科室ですべて夜通し勉強してたりとか、そういうのは学歴社会とはちょっと違いますけど、日本よりも就職というか、成績っていうか、そういうのに対する意識が強いんじゃないかなって思ったり。あとは、学校の中で普通にお酒を飲んでるのが衝撃的だったんですけど。体育祭とかで、普通にマッコリとかをグラウンドのベンチの所でコールしながら飲んでたり、学科室とかでみんなでお酒飲んだりしてるのを見て、日本だったら絶対あり得ないかなって思いました。あとは、人と人が近いというか、典型的な例としては恋人もありますけど、女子同士とかでも普通に腕組んで歩いたり、手つないで歩いたり、日本じゃ、あまり見ないかなっていう光景で。日本人っていくら仲良くても、自分の壁があると思うんですよ。でも、韓国人はそれに比べると、お互い壁もない感じで見ても、距離が近いなっていうのは感じました。それくらいです。

3.3. 被調査者 C

図3は非調査者C(以下、「C」とする)のデンドログラムである。また、表3はCのクラスター分析とクラスター解釈である。

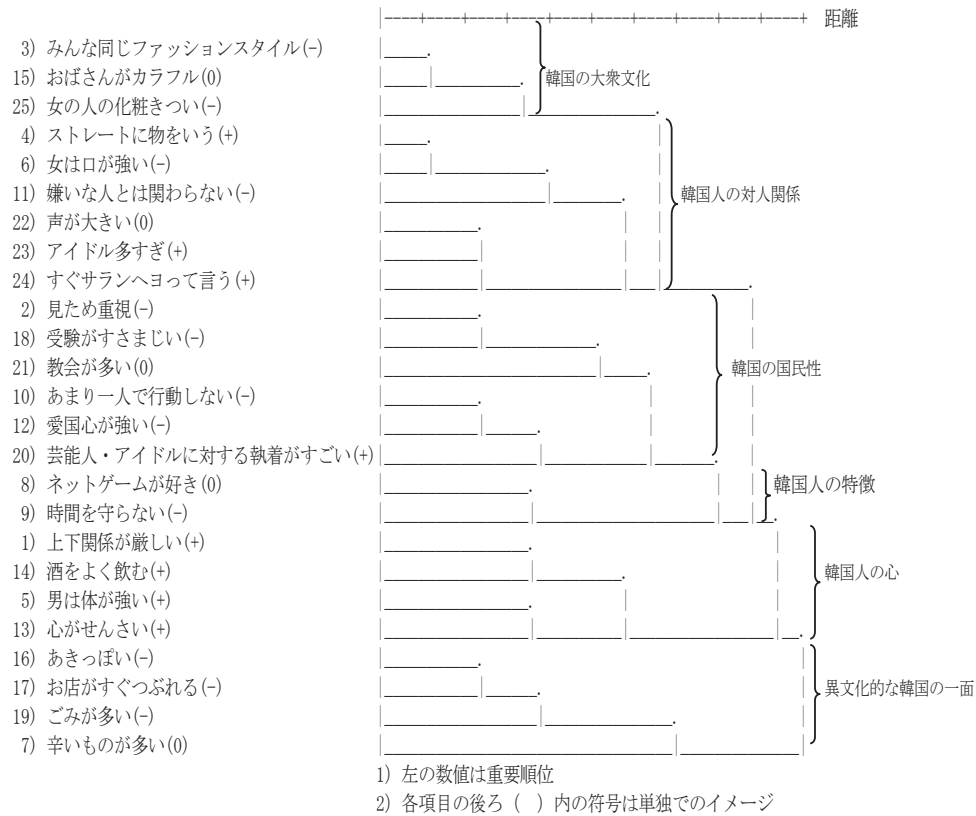


図3 Cのデンドログラム

表3 Cのイメージ項目及びクラスター解釈

クラスター1 韓国の大衆文化:『3) みんな同じファッションスタイル (-)』『15) おばさんがカラフル (0)』『25) 女の人の化粧きつい (0)』	
クラスター解釈	ファッション。見た目。(もうちょっと具体的に) 実際に韓国に行き、韓国人を見たときに。学校だけだと、女の人の化粧はきつい感じでしたし、地下鉄とか乗ると、おばさんとかいるんですけど、すごいカラフルな格好してて。カラフルな色。蛍光ピンクとか、蛍光の黄色の服を着てる。(日本では) 地味。黒とか茶色とか、多いと思うんですけど。(みんな同じファッションスタイル) これは、韓国に行ったときに、みんな髪型が同じ印象で。あと、学校にいる学生とか見ると、みんな眼鏡掛けて、みんな帽子かぶって、みんなジャンパー着てみたい。ジーパンはいて、ジーンズはいてって感じ。
渡韓後の変化	ファッションスタイルが同じっていうのは、何となく分かって。韓国人、眼鏡かけてるイメージがあったんで、やっぱりなって思いました。あと、おばさんがカラフルとか、女の人の化粧がきついとか、そういう自己主張が激しい感じは、韓国に行き、初めて気づきました。
クラスター2 韓国人の対人関係:『4) ストレートに物をいう (+)』『6) 女は口が強い (-)』『11) 嫌いな人とは関わらない (-)』『22) 声大きい (0)』『23) アイドル多すぎ (+)』『24) すぐサランヘヨって言う (+)』	
クラスター解釈	ちょっとクラスター1と似てるんですけど、自己主張が強い。(自己主張が強い) 思ったことを口にするみたい。思ったことを口にしたり、態度で表したり。(何かそういうことをされたことある?) されたことつつうか、声大きいことは韓国に行き、すごいあっちこっちで、いろんな声聞こえます。今、日本で韓国人留学生がいるんですけど、しゃべっていると声が大きくなって思います。それとか、アイドル多いのは、すごく思います。(11番どんなイメージ?) 本当に友達と思ってる人とか関わらないっていうイメージがあります。グループが形成されて。他のグループとはもうあんまり関わらない。
渡韓後の変化	変わったことは、口が強い。言うことが、ストレートっていうのがびっくりしました。(なるほど) 日本ではあり得ないですし、日本にいるときも、韓国人とか、ストレートにもの言う人とあんまり関わったことがなかったので。(かなりショックだったんだね、そしたら) ショックとか。驚きでした。こういう人もいるんだと思ったら、そういう人たちがほとんどだったんで。しかも、こういう人たちもいるんだな、じゃなくて、ほんとんどがそうだった。

クラスター3 韓国の国民性：『2) 見たため重視 (-)』『18) 受験がすさまじい (-)』『21) 教会が多い (0)』『10) あまり一人で行動しない (-)』『12) 愛国心が強い (-)』『20) 芸能人・アイドルに対する執着がすごい (-)』	
クラスター 解釈	見た目重視と、受験がすさまじいと、あんまり1人で行動しないってところは、自分の経歴とか、自分を高める。(自分を高める)みたいな。外見？ 外見でもないけど。自分を良く見せるために、やってる行動。受験だったら、いい大学行ったら、自分、良く見えるし。(他人から高く評価される) そうです、そんな感じです。高く評価される。8番、9番は、やや独立してますけど。みんな同じ行動を取るみたいな感じですかね。(集団主義は日本とは違う?) 日本も、どうなのでしょう。でも、韓国ほど激しくないです、集団主義が。何かに対する執着がすごいってことも、そういう表れなんですかね。芸能人、アイドルに対する執着がすごいのは、びっくりしました。日本人もそうなんですけど。芸能人とかアイドルをあがめるというか、神のように扱ってる人が多くて、周りで。(行く前は)行く前、全然、普通に日本人みたいに。(アイドルはアイドルとして見てると) だと思ったんですけど、神のようにすごい扱い方してて。愛国心が強いってというのは、あんまり特になんも思ってなかったんですけど。でも、韓国行ってる時も、日本もそうかもしれないですけど、とりあえず、韓国の国旗をよく出す。何かにつけて。(記念日とかに) 日本も多分、そういうのあるんですけど。若い人も韓国の国旗をよく出します。私たち、日本の国旗とか、そんな出さないんですけど。Facebookとかでも、記念日とかあったら、アイコンって分かります? 自分の画像のところを国旗にして、きょうは記念日だから、なんとかしましょうみたいな、書いてあって。若者もそういう、愛国心が強いってということが、びっくりしました。
渡韓後の 変化	行く前は、全然でした。受験は、よくニュースになってて、受験生が遅刻しそうになったら、パトカーが乗せてってくれるみたいな、そういうのを聞いてて。受験がすさまじいってことは知ってたんですけど。見た目重視ってというのも、整形とかよく韓国、有名なので知ってたんですけど。証明写真までも修正して、就職活動、就職に有利なように進めている。見た目をすごい磨いている。
クラスター4 韓国人の特徴：『8) ネットゲームが好き (0)』『9) 時間を守らない (-)』	
クラスター 解釈	さっきのと対照的なんですけど、1人の時間を大事にしてるって感じですが。時間を守らないっていうのは、身なりとかに時間をかけ過ぎて、遅れちゃったっていうパターンをイメージしたんですよ。多いです。(化粧とか) そうです。そういうので、自分の時間を大事にしてるって感じですが。(ネットゲームも) そうですね。
渡韓後の 変化	8番と9番は行く前からどっちも知っていました。時間を守らないっていうのは、すごい有名。コリアンタイムって有名で。ネットゲームも好きっていうのも、何となく知ってた。よくテレビで、韓国人、パソコンがすごいっていうのを聞いてて。
クラスター5 韓国人の心：『1) 上下関係が厳しい (+)』『14) 酒をよく飲む (+)』『5) 男は体が強い (+)』『13) 心がせんさい (+)』	
クラスター 解釈	これは、つながってるんですけど。上下関係が厳しいから、ストレス発散でお酒をよく飲んで。それで、男は体強いってというのは、軍隊に行ってる、軍隊ってというのは上下関係が厳しいっていうイメージでっていうのでつながって。心が繊細ってというのは、お酒をよく飲んで、愚痴をこぼしてる。(他人に) 実はこう思ってたんですけどみたいな。そういうつながりです。(弱いところもある?) そうですね。それは、お酒で。お酒を飲むことによって表れるみたいな。
渡韓後の 変化	特に。結構みんな、何となく知ってた感じ。心が繊細、お酒を飲んで愚痴をこぼすっていうのが、ドラマ見てて、ドラマの主人公がいつもお酒飲んで、愚痴をこぼしてるイメージがあったんで、分かってました。何となく。
クラスター6 異文化的な韓国の一面：『16) あきっぱい (-)』『17) お店がすぐつぶれる (-)』『19) ごみが多い (-)』『7) 辛いものが多い (0)』	
クラスター 解釈	これも、つながってるっていうか、お店がすぐつぶれるんですよ。留学した所で。他もそうだと思うんですけど。すぐつぶれるっていうことで、飽きっぱい。お客さんも来なくなったっていうので、飽きっぱいっていう意味で。お店がつぶれたら、いろいろ作業して、ごみが多くなるのかなっていうので。辛いものが多いっていうのは、辛いものが多過ぎて、飽きっぽくなっちゃうのかなとか思って。一つのをずっと食べてるんじゃなくて、いろんなものがあるから、違うお店に行ったりとか。分かりますか。
渡韓後の 変化	お店がすぐつぶれるのは、びっくりしました。本当に、つい最近まで普通に行ってたお店が急に突然なくなるんで。それはびっくりしました。あと、ごみが多いのも。日本も多いんですけど、とりあえず、道が汚いって感じでした。ごみが多くて。
全体	
クラスター 解釈	自分の主張が強い。自分のやりたいことを、とにかくやるって感じ。見た目も重視。それが自己主張ですね。自分の主張を、ファッションとかで表す。自己中心的。

3.4. 被調査者 D

図4は非調査者D(以下、「D」とする)のデンドログラムである。また、表4はDのクラスター分析とクラスター解釈である。

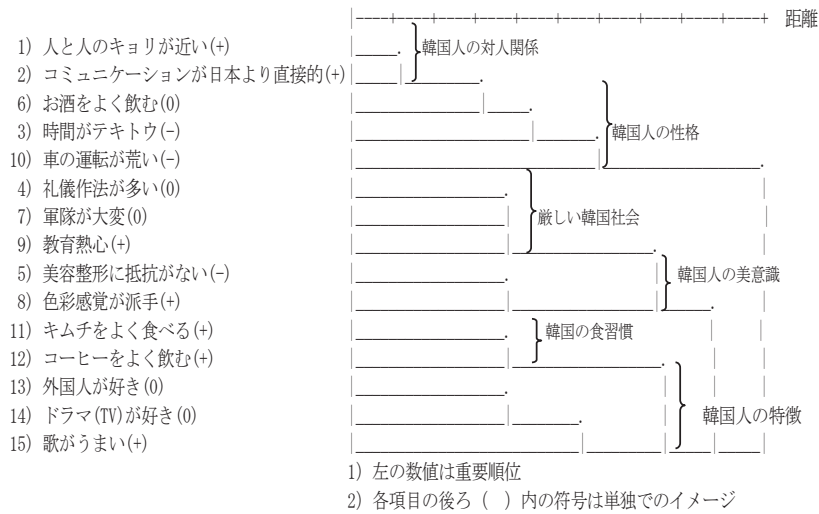


図4 Dのデンドログラム

表4 Dのイメージ項目及びクラスター解釈

クラスター1 韓国人の対人関係:『1) 人とのキョリが近い(+)]『2) コミュニケーションが日本より直接的(+)]	
クラスター解釈	韓国に留学していたときに、韓国人の友達とかと仲良くなると、女の子だったら普通に手をつないだりとか。あとは、コミュニケーションも日本人だったら何回か会ったことしかないのに聞けないようなことまで1回目で聞いたりとか。悪口も仲良いからこそ悪口を冗談で言えるっていうようなことが結構あって、日本のコミュニケーションとはちょっと違って、人と人と距離が近くて、もっと直接的にコミュニケーション取るのかなっていうイメージがあります。他は、人と人との距離が近いっていう意味で、お酒の席とかで一緒にの盃を交わすっていうのも、日本だったらちょっとない感覚だなと思います。食べ物を食べる時も同じものを・・・。同じやつを、食べ物も一緒に、一つの鍋で食べるのは日本ではないなと思います。
渡韓後の変化	行く前は本当に韓国語がしゃべれなくて、韓国人の友達もそんなにいなかったもので、日本と同じ感じで、言語を見ても日本語と似ているし、コミュニケーションの取り方もあんまり違わないのかなって思っていたんですけど、行ってみたら結構びっくりっていうか・・・。
クラスター2 韓国人の性格:『6) お酒をよく飲む(0)]『3) 時間がテキトウ(-)]『10) 車の運転が荒い(-)]	
クラスター解釈	これは、大体、大ざっぱな性格っていうイメージがあって、留学前から聞いてはいたんですけど、お酒を飲む量が日本と違ってかなり飲むなっていうのと、あと待ち合わせの時間を決めてもその時間より前に来る人はほとんどいなくて。その時間ぴったりぐらいか、その後、5分くらい遅れてくる。それでもみんながそう思っているのが分かってるから、別に普通のことっていうような感じがあるなと思いました。あと車の運転が荒いっていうのは、結構タクシーに乗ったときに、すごいびっくりして。バスとか…。日本だったら、おばあさんとかがバスに乗ってきたら、座るまで待ってくれたり、M(Dの所属大学の所在地)だったらするんですけど、もう普通に。待たないでそのまま乗ったらすぐ行くっていう感じがびっくりしました。特にKにいたときは…。(K(地名)はね)坂が多いんでジェットコースターみたいな感じでした。
渡韓後の変化	全体的に聞いてはいたんですけど、でも留学に行ってから感覚として理解したという感じです。
クラスター3 厳しい韓国社会:『4) 礼儀作法が多い(0)]『7) 軍隊が大変(0)]『9) 教育熱心(+)]	
クラスター解釈	礼儀作法が多いっていうのは、日本以上に敬語とか、年代によって1個でも年上だったら敬語、上下関係が厳しいっていうのを感じたのと、あとは軍隊? 大学の中に軍服で来ている人とかがいて、先輩がかなり遠くで見えた段階でもあいさつっていうようなことがあって、それはすごいなって思いました。教育熱心っていうのは、高校生とか受験戦争がすごくて、かなりみんな勉強してるなっていうのを感じたのと。あと、大学でも日本の大学だったら22時くらいで図書館、閉まっちゃいますけど、24時間大学の図書館が開いていて、夜中まで勉強している人がいるっていうのはすごく驚きでした。

渡韓後の変化	これも（韓国に行く前に）イメージはあったんですけど、具体的な体験というか、具体的にどうということからこういうのを感じるかっていうのは分からなかったんですけどよね。日本では、軍服を着て外に歩く人はほとんどいないので。
クラスター4 韓国人の美意識：『5』美容整形に抵抗がない(-)』『8』色彩感覚が派手(+)	
クラスター解釈	派手なイメージですね。結構、見た目を重視するっていうのが、日本よりは見た目を重視ってのがあるなと思って。一回、授業で、美容整形についてどう思うかっていうのがあって、「賛成の人、手を挙げてください。反対の人、手を挙げてくださいっていうのがあったときに、反対の人はほとんどいなくて賛成の人がほとんどで、韓国なんだなって思いました。結構、友達でも、目をやったとか言う人がいたりして、普通に言えちゃうくらい当たり前のこと。日本だったらまだ抵抗があるかなって思います。あと、色彩感覚が派手ってのはファッションが、女子大生なんて見るんですけど、日本では着れない色とか日本では着れないデザインも結構ありますね。あと、おばさんたちの服はやっぱり、まあ日本でもそうですけど、結構、派手ですよ。デザインもちょっと日本と違います。ピンクが日本ではなんというか、あんまり目立たない、地味な色で、それがおしゃれっていうのがあると思うんですけど。韓国だと…。日本だったら地味な色が多くて、何ていえばいいんですかね。派手だし、あと女の人の服装なんですけど、韓国だったらスタイルがよく見えるように、体のラインが出るのを着るんですけど、日本だったらかわいいのが好きなので、体のラインが見えるってよりは、ふんわりした感じの服を着ててセクシーさを出したい韓国人…。お化粧も結構、日本と韓国違う。日本はチークが濃くて。あと、つけまつげをつけるんですよ、ギャルメークとかだと。韓国はアイラインが、ものすごく長いんですね。色彩感覚が派手っていうのは、テレビとかで見るイメージでちょっとは思っていて。あと、整形の話も聞いたことありましたが、これもまた実体験とは違うかなって感じですよ。
渡韓後の変化	無回答
クラスター5 韓国の食習慣：『11』キムチをよく食べる(+)'『12』コーヒーをよく飲む(+)	
クラスター解釈	辛いものっていう意味なんですけど。本当に辛いもの、よく食べるなって思って。韓国料理で毎日過ごしていて、唐辛子を一回も食べない日はない感じだと思います。ここまですごい全部に入ってるんだっていうのは思いました。コーヒーをよく飲むっていうのは、大学生なんですけど、結構コーヒーを片手に歩いている人が多くて。それもちょっとあると思います。でも、それだけじゃなくてカフェとかも多くて、安くておいしいし、日本人より好きなのかなって。まあ、勉強熱心っていうのもあって、コーヒーを夜、図書館で飲んでる人、結構、見ました。
渡韓後の変化	イメージは、辛いものって場合は元からあったんですけど、それ以上でした。想像以上でした。コーヒーっていうのはイメージになかったんで、行ってから分かりました。
クラスター6 韓国人の特徴：『13』外国人が好き(0)』『14』ドラマ(TV)が好き(0)』『15』歌がうまい(+)	
クラスター解釈	外国人が好きっていうのは、私が最初、韓国語ができなかったんで、英語のスタディーグループに入っていて、その人たちと結構、仲良くなったんですけど、本当に欧米人を見るとすぐ話しかけるっていうのがすごいなと思って。英語を勉強してるからなのかもしれないけど、積極的だなと思いました。あと、テレビドラマは視聴率がものすごく高いじゃないですか。メディアの授業を受けてたんで、本当にみんな流行の番組とかを、みんな大学生だったら見てて。最近だったらオーディション番組が結構はやってるらしいんで、そういうのをみんな同じのを知っている。日本人の大学生だったら趣味が結構ばらばらなんで、みんな見てるってのは、そうそうないんですよ。バラエティーとか多少はあるんですけど。歌がうまいっていうやつは、カラオケが、日本で生まれたカラオケですけど、韓国でも日本以上にあるくらいあって、みんな歌を歌うのが好きみたいで結構、歌歌うんだって、結構うまいなあと思いました。
渡韓後の変化	外国人が好きとか歌がうまいっていうのは、行ってから分かったことで、ドラマが好きなのは視聴率とかは聞いてたけど、本当に実際そういう同じ番組を見てる人がいてという体験は行ってからしました。
全体	
クラスター解釈	全体的に一生懸命、何に関しても日本よりも一生懸命なところがあると思います。勉強に関しても、すごい勉強するし。あとお酒に関しても、よく飲むということをして人とよく一緒に…。積極的に人と仲良くご飯を食べながらお酒を飲みながら、コミュニケーションして。特にMは田舎なので、ずっと田舎で幸せに暮らしていければいいって考える人も結構、多いと思うんですけど、韓国ではもっと上に行きたいって思う感じが強いかな。

4. 考察

以上、韓国に交換留学をした日本人学生の韓国に対するイメージを見てきた。対韓国・韓国人のイメージの特徴として、それぞれの被調査者は日本あるいは日本人のイメージと比べていたことが挙げられる。また、A～Dのイメージ項目及びインタビューからは、以下の共通点が見られた。

4.1. 韓国人の特徴に対するイメージ

(1) 自己主張がつよく、はっきりしている

Bは「自分が思っていることを積極的に(…)言ってるイメージ」、Cは「自己主張が強い。思ったことを口にするみたいな」と述べており、授業を受ける中で韓国人学生が積極的に発言している場面から思い浮かぶイメージであるといえる。

(2) 他者との距離感が近い

Dは、韓国人のコミュニケーションと日本人のコミュニケーションの違いについて、「日と人との距離が近くて、もっと直接的にコミュニケーションを取る」と解釈している。また、Bも「日本人は(…)何かをするときに一応、断りを入れるというか、一回聞いてから使ったりとかすると思うんですけど、それを韓国ではそういう文化があまり逆に仲いい同士だからいいっていう、そういうのがあるので」と解釈している。このことからDとBは韓国人は他者との距離の近いことを指摘していることが分かる。Aも「日本人でも人によっては、韓国行ったらなんでそんなプライバシーってか、どんどん踏み込んでくるんだみたいな(感じる人もいるだろう)」と回答しており、日本人とは違う他者との距離感を感じているようである。同時に、家族との関係が近いこと(A)や、大学の同じ学科内での連帯感(B)など、特に集団内での関係の深さについて日本との違いを指摘していた。

(3) 自己肯定観が強い

A、Bは自分の写真をSNSや携帯電話に載せる韓国人を例にとり、「日本人は絶対、外に自分のこと好きっていうことをあんまり見せない(A)」という日本人とは対照的に、韓国人は自己肯定観が強いと感じていることが分かった。

(4) お酒をよく飲む韓国人

A～Dの4名の共通のイメージ項目として挙げたのが「お酒をよく飲む」、「お酒文化」であった。ただし、いわゆる酒文化に対して、「(お酒を通じて)仲良くなれる(B)」のようにプラス評価をしている場合と、後述する「上下関係が厳しい」ために「ストレス発散でお酒をよく飲んで(C)」のようにマイナス評価をする場合があり、それぞれ評価が異なることが分かった。

4.2. 韓国社会に対するイメージ

(1) 学歴社会

「学歴社会」のイメージと同様のイメージ項目として、「勉強熱心(A)」、「受験がすさまじい(C)」、「教育熱心(D)」があったが、大学受験においても日本に比べて厳しいこと、また韓国の大学生が日本の大学生に比べて勉強時間が長いことなどを挙げていた。その背景として、「大学進学しないと就職できないみたいな(B)」事情があることや、就職のために英語学習や留学にも熱心にならざるをえず、(韓国の大学生は)「切羽詰まってる(A)」と感じていることが分かった。

(2) 上下関係が厳しい

Bは「上下関係が厳しい」韓国社会について、「学番(学年)が一緒だとしても本当の年齢をみ

んなが知ってて、それで言葉遣いを決める」ことを例に挙げ、「上下関係が日本に比べて徹底している」と否定的な評価をした一方で、他の被調査者はそのことが必ずしもマイナスイメージとは捉えておらず、Aは「日本人としては難しいなっている部分もあるんですけど、全体的に日本人より冷たくない」としている。またCは、前述のように「上下関係が厳しいからストレス発散でお酒をよく飲んで」と、生活習慣と結び付けて捉えている。Dは「礼儀作法が多い」というイメージ項目をあげ、1歳年上でも敬語を使うことを例に挙げているが、否定的に捉えてはいない。韓国人の上下関係についても上述した「お酒をよく飲む韓国人」同様、それぞれ異なる評価をしていることがわかった。

(3) 軍隊・兵役

日本にはない韓国の兵役制度についても、共通のイメージ項目として述べられていた。特にAは、軍隊内での自殺や殺人事件が起きていることもあり、「暗いイメージ」で否定的な印象を持っていたが、その他の被調査者の語りとしては「留學生活の中で、(…) 会話の授業を手伝いに行っていた1年生が、次の学期に移ったら徴兵制で軍隊行っちゃった」経験(B)を身近なこととして捉えていたケースや、男性は軍隊に行くので「男は体強い」というイメージとして肯定的に捉えているケース(C)、大学内でも軍隊の上下関係が守られ、「先輩がかなり遠く見えた段階でもあいさつ」していた印象的なエピソードから「軍隊が大変」というイメージを持ったケース(D)が見られ、そのイメージについても評価が一面的ではないことが分かった。

4.3. 滞在後のイメージの変化

渡韓前に持っていたイメージが強化されたこととして、「勉強熱心」な韓国人、「上下関係が厳しい」、といったことが挙げられる。これらは留學生活において実際に見聞きしたことや、自身が体験したことから来るものであった。また、「お酒をよく飲む」韓国人、「色彩感覚が派手」「美容整形に抵抗がない」「見た目重視」「辛いものが多い」といった、渡韓前に知っていたことが再確認されたイメージ項目も見られた。

一方で、渡韓前には実感していなかったイメージとして「他者との距離感が近い(プライベートがない)」「家族を重要視する」といったことが挙げられる。また、これらは必ずしも否定的なイメージとして捉えられているわけではなく、「優しい」韓国人、という情にあつい韓国人のイメージとして捉えていることが分かった。特にAの場合、「社会のヤミ」「政治の不透明性」「格差」といった、韓国社会における問題についても「韓国の暗い部分」というイメージ項目として挙げているが、渡韓前は韓国については「外交的な部分」、すなわち日韓関係における領土問題などに関心がいきがちであったが、「韓国社会で生活してみると、韓国でしか感じられない(…)韓国国内にもこういった問題があって」の解釈から分かるように、韓国国内の社会問題に関心を向けるようになっており、韓国社会に対する見方に変化が起きている様子が窺える。

5. まとめ

ここまで、韓国に半年ないし1年間韓国に交換留学をした日本人学生の韓国に対するイメージについて、PAC分析を通して考察した。その結果、「他者との距離感が近い」「上下関係が厳しい」「学歴社会」「お酒好き」といった、先行研究同様のイメージもみられる一方で、交換留学を通して、「韓国社会での生活」を体験することにより、単なる表面的な理解に留まらず情意的な評価を含め、より多面的に韓国社会を捉えようとする態度へ変化していることが分かった。しかしながら、インタ

ビューにおけるほとんどのイメージ項目が社会的背景や歴史的背景に考えを巡らせるようなものではないことが分かった。

今後は、このようなイメージは、日本人留学生に特徴的なものなのか、あるいは他の国出国からの留学生にも見られるものなのかについても探り比較検討する必要があると考えられる。また、渡韓後にどのようなことがきっかけでイメージに変化が起きたのか、さらに、社会的・歴史的背景も含めた対韓国・韓国人のイメージを捉えるためにどのような研究手法が有効なのかについても検討する必要があると考える。これを今後の課題にしたい。

付記

本論文は、日本学術振興会学術研究助成基金助成金基盤研究C(課題番号:17K02838, 研究代表者:安龍洙)の助成によるものである。

注

- 1) 本研究の被調査者は、派遣先大学と留学時期、期間などから個人が特定される危険性がある。そのため、本稿では「2012年～2017年の間に韓国の大学(W～Z)に交換留学生として滞在した日本人学生」という記述に留めた。また、本稿で扱う韓国に対するイメージは政治的な影響を受けやすいと考えられるため、日韓の政治的な対立が表面化する前に韓国に留学した交換留学生を研究対象とした。

引用文献

- 安龍洙 (2009) 「外国人の対日観に関する研究—韓国人短期留学生の場合—」『茨城大学留学生センター紀要』7, 1-13.
- 安龍洙 (2014) 「韓国人短期留学生の日本留学観の変化に関する一考察」『茨城大学留学生センター紀要』12, 75-88.
- 安龍洙 (2015) 「日本留学経験者の韓国帰国後の対日観の変化に関する一考察」『茨城大学留学生センター紀要』13, 1-14.
- 呉正培 (2018) 「韓国人イメージに与える直接経験の影響とその持続性—日本人大学生の訪韓経験の事例研究」『哲學』慶応大学三田哲學會, 140, 49-71.
- 呉正培・松本一見 (2013) 「日本人大学生の韓国人イメージに関する質的研究」『言語科学論集』東北大学, 17, 59-72.
- 呉正培・金鉉哲 (2009) 「韓国語学習者の韓国人イメージに見られる特徴—東北大学における学習者と非学習者の比較」『東北大学高等教育開発推進センター紀要』4, 57-58.
- 金庚芬 (2017) 「日本の大学生の韓国、韓国人、韓国語に対する好感度—韓国語学習者・非学習者別に—」『明星大学研究紀要—人文学部』53, 17-26.
- 金由那 (2006) 「韓国語学習者の日本人と在日韓国人との意識の相違—韓国語・韓国・韓国人イメージと学習要因に着目して—」『社会言語科学』8(2), 26-42.
- 高柳有希・安龍洙 (2019) 「日本人学生の韓国留学観の変化に関する一考察」『茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究』2, 91-102.
- 松田勇一・安龍洙 (2018) 「日本社会における中国人交換留学生の異文化理解に関する一考察」『茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究』1, 69-83.
- 尹秀美・南相瓔 (2014) 「日本人の韓国及び韓国人に対する意識—金沢大学学生の『初習言語』学習者間の比較を通して—」『言語文化論叢』金沢大学外国語教育センター, 18, 155-185.
- 尹秀美・南相瓔 (2015) 「日本人の韓国に対するイメージに関する調査研究—金沢大学学生の『初習言語』学習者間の比較を通して—(その2)」『言語文化論叢』金沢大学外国語教育センター, 19, 163-185.
- 尹秀美・南相瓔 (2016) 「日本人の韓国人に対するイメージに関する調査研究—金沢大学学生の『初習言語』学習者間の比較を通して—」『言語文化論叢』金沢大学外国語教育センター, 20, 115-140.
- 林炫情・姜姫正 (2007) 「韓国語および韓国文化学習者の意識に関する調査研究」『人間環境学研究』5(2), 広島修道大学人間環境学会, 17-31.